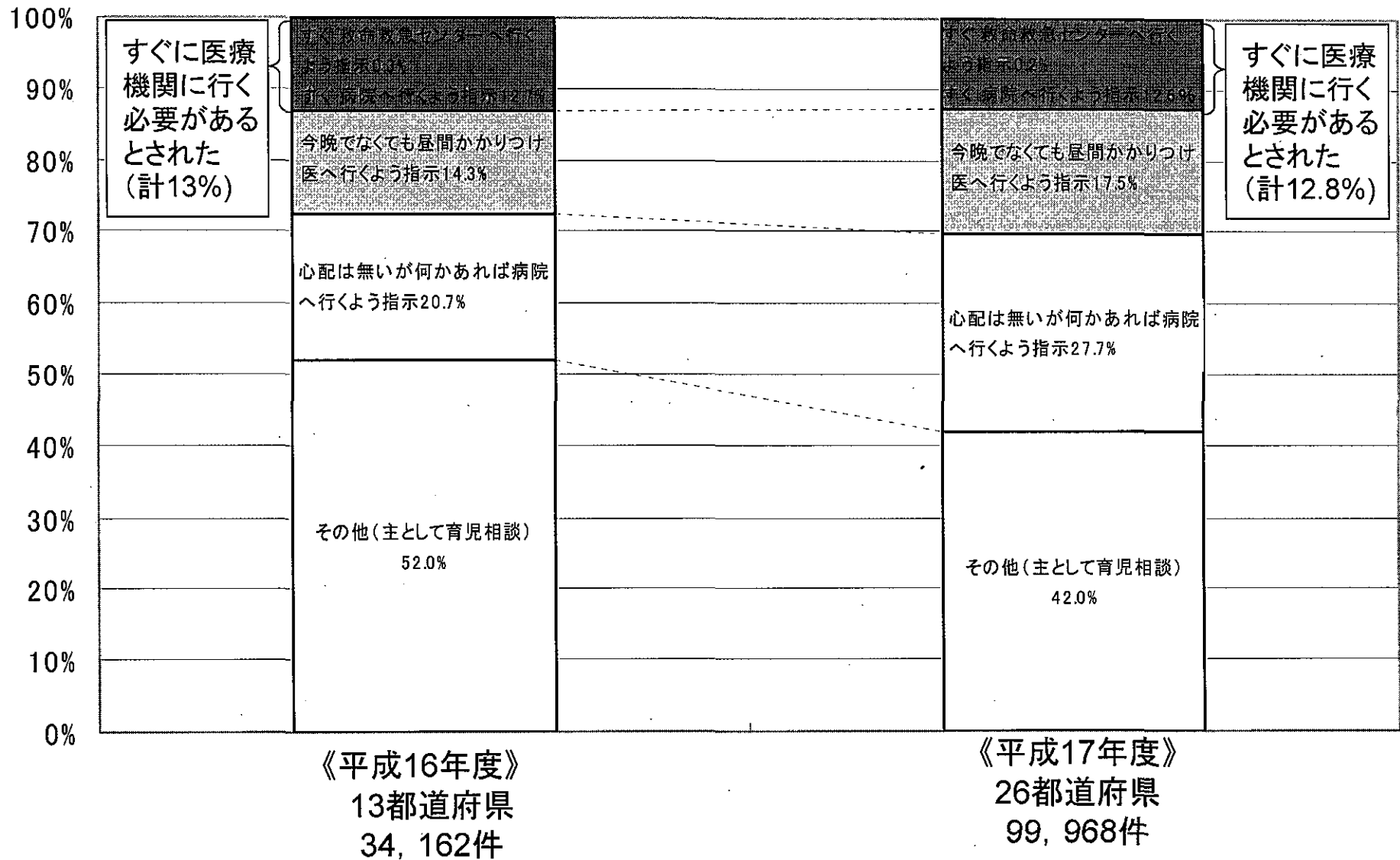


小児電話相談実績(平成16年度、17年度比較)



(注) 電話相談を受けた小児科医、看護師等による回答ぶりについて集計したものであって、実際の受療行動ではない。

出典: 厚生労働省医政局指導課調べ

○「おかざき小児救急フォーラム」 を開催

《目的》

保護者の皆様に救急医療体制等について理解を深めて頂くとともに、救急医療機関への適正な受診を図ることを目的とする。

《日時》平成18年11月18日(土) 午後1時30分～4時

《会場》福祉会館6階ホール

《参加者》73名

《プログラム》

1.講演「子どものインフルエンザ」

花田 直樹(岡崎市小児救急医療対策協議会 医師)

2.シンポジウム「どうしたらいい? 子どもの急病」

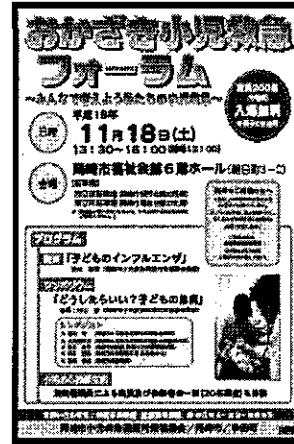
座長 村山 憲(岡崎市小児救急医療対策協議会 医師)

シンポジスト

- 富田 博(岡崎市小児救急医療対策協議会 医師)
- 大原真希子(岡崎市小児救急医療対策協議会 保護者代表)
- 長井 典子(岡崎市民病院 医局小児科循環器部長)
- 鈴木 若弘(岡崎市中消防署本署 救急救命士)
- 宮澤 孝彦(岡崎市保健所長)

3.小児の心肺蘇生法

消防署職員による実演及び参加者の一部も体験



○岡崎市広報番組特集 「小児救急を考える」の放映

〔放映年月〕

平成18年12月(8日間)

〔放映の目的〕

全国的に小児救急医療現場の医師不足が問題となっているなか、岡崎市では平成16年6月に夜間急病診療所に小児科医を配置した結果、夜間急病診療所の受診者が急増しています。

しかし、実際には軽症の受診者が多く、本当に救急を要する子どもの待ち時間が長くなってしまいう現象が起っています。

今回の特集では、小児救急医療の現場を様々な角度から調査し、私たち(保護者)がどのように小児救急医療を利用すべきかを考えてみたいと思います。

※ DVDの貸出し可

○平成16年7月24日 岡崎市小児救急医療対策協議会を設置

小児救急医療体制のあり方を総合的に検討し、その充実を図るため、岡崎市小児救急医療対策協議会を設置。

[協議事項]

- (1) 小児救急医療に関する情報収集及び分析に関すること。
- (2) 小児救急医療の情報の提供に関すること。
- (3) 小児救急医療体制の充実方策の検討に関すること。
- (4) 上記に掲げるもののほか、協議会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

[委員数等] 当初10名 → 現在8名

当初：大学関係者3名、市民公募2名、保育・幼稚園関係2名、岡崎市医師会員3名

現在：市民公募2名、保育・幼稚園関係3名、岡崎市医師会員3名

適正な受診及び利用へ向けての主な協議会事業

○子どもの急病！ガイドブックの発行

休日や夜間など、病院や診療所が休みの時に、急にお子さんの具合が悪くなったら

- ・ どうすればよいのか
- ・ 誰に相談したらよいか
- ・ 今すぐに救急医療機関へ行くべきか
- ・ 明日まで待つべきか

迷うことはないでしょうか。

このことを解決するひとつの方法として、平成17年3月に初版を発行し、平成18年3月に改訂版を発行しました。



○出前講座

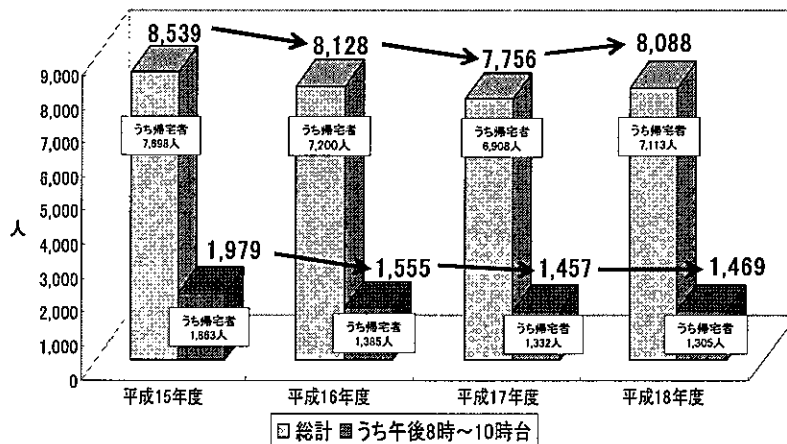
従来からの各種メディアを通じた啓発活動を継続するとともに、各保育園・幼稚園や子育てサークルなど、保護者の皆様が集まる機会などに出張(出前)し、ガイドブックのPR、「かかりつけ医を持つことの重要性」などについての啓発活動を行い、この小児救急医療体制を守り育てる環境づくりを推進する。


H20年2月20日が第41回目



市民病院救急外来小児科受診者数の推移

市民病院救急外来小児科受診統計





県立柏原病院の小児科を守る会

メニュー

- ◆ご挨拶
- ◆このブログ
- ◆守る会の活動
- ◆情報コーナー
- ◆お問い合わせ

◆入会のご案内

◆お問い合わせ

◆リンク集

◆守る会のブログ

このブログ

1. コンビニ受診を控えよう

2. かかりつけ医を持とう

3. お医者さんに感謝の気持ちを伝えよう

「医師は戦わない、ただ、黙って立ち去るのみ！」

一般的にはそう言われています。
しかし、柏原病院小児科は違います。

ほうじく無くなるかも知れないというりの恐怖がありました。

私たち「守る会」は新聞を通じてこのサインを知り、
そして活動を始めることが出来ました。

幸い、小児科については「守る会」の活動のみならず、
様々な方面のお方ご意見により、明るい兆しが見えてきました。
が、新聞には柏原病院は依然「泡鳴状態」だと書かれています。

医師が立ち去り、地域医療が崩壊してから声をあげたのでは遅いのです。
そうならないように全力を尽くす以外にありません。
丹波の医療を守るために何が出来るのかを一緒に考えてみませんか？

現在の小児医療の問題点

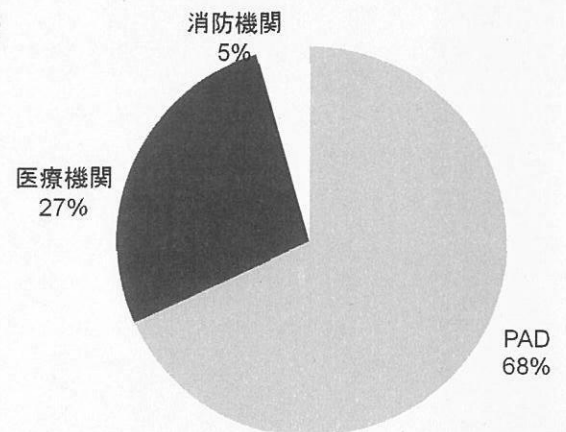
- ① 不当な診療報酬の低さとフリーアクセスによる患者数の多さ
- ② 病院小児科勤務医の減少
- ③ 乳児医療無料化と救急外来のコンビニ化
- ④ 訴訟リスクとクレーマー

AEDの設置状況

AED の設置状況について

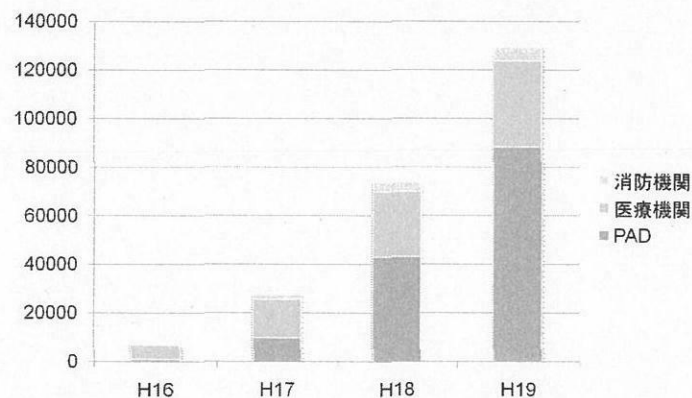
○AED の普及状況（平成 19 年 12 月現在）

・ 総数	129,475
- PAD	88,265
- 医療機関	35,483
- 消防機関	5,727

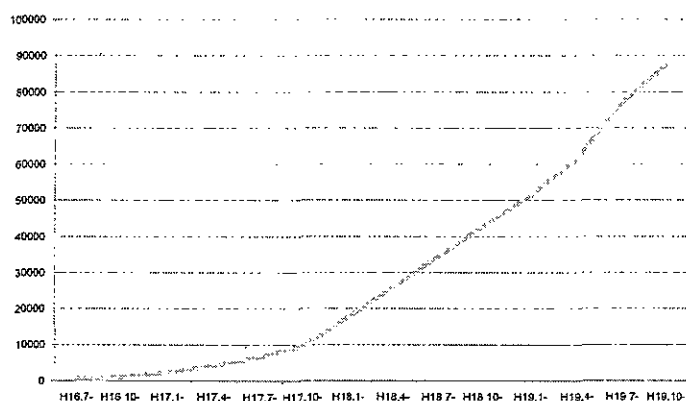


・ 人口 10 万人対設置数	101.33
- PAD	69.08
- 医療機関	27.77
- 消防機関	4.48

・ 累計

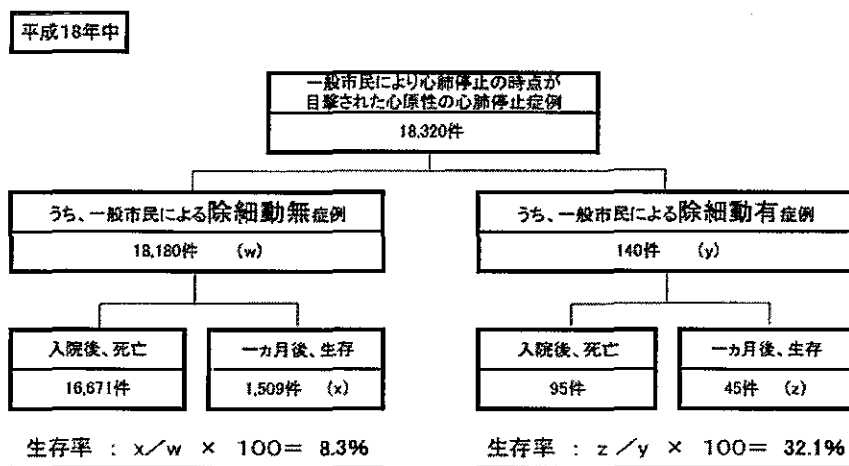


○PAD の設置数 (累計)



「AED 設置状況の調査」厚生労働科学研究 (主任研究者 丸川征四郎) 平成 19 年度

○一般市民による AED 使用の効果



「様々な条件下での救命救急処置の生存率への効果に関する結果報告」総務省消防庁 平成 19 年

○今後の課題

- ・一般市民への心肺蘇生も含めた AED の適切な使用方法の啓発
- ・適切な管理についての啓発
- ・設置場所の把握

都道府県別PADの設置数(平成19年12月現在)

都道府県	PAD設置数			人口10万対PAD設置数		
	H17	H18	H19	H17	H18	H19
北海道	186	1,287	3,574	3.31	22.87	63.51
青森県	152	682	1,070	10.58	47.47	74.48
岩手県	127	504	966	9.17	36.39	69.75
宮城県	319	933	1,534	13.52	39.53	64.99
秋田県	48	213	673	4.19	18.59	58.75
山形県	74	364	811	6.08	29.93	66.68
福島県	86	630	1,274	4.11	30.12	60.92
茨城県	103	874	1,993	3.46	29.38	66.99
栃木県	97	374	1,127	4.81	18.55	55.89
群馬県	179	615	1,382	8.84	30.38	68.28
埼玉県	376	2,265	5,010	5.33	32.11	71.02
千葉県	345	1,590	3,490	5.70	26.25	57.62
東京都	1,792	6,892	13,259	14.25	54.80	105.43
神奈川県	505	1,932	4,604	5.74	21.98	52.37
新潟県	91	679	1,723	3.74	27.93	70.86
富山県	168	524	951	15.11	47.13	85.54
石川県	38	269	555	3.24	22.91	47.27
福井県	274	669	964	33.35	81.43	117.33
山梨県	88	503	971	9.95	56.87	109.78
長野県	245	1,014	1,712	11.16	46.17	77.96
岐阜県	188	840	1,681	8.92	39.86	79.77
静岡県	216	1,244	2,752	5.70	32.80	72.57
愛知県	831	2,952	5,710	11.45	40.69	78.71
三重県	112	910	1,776	6.00	48.74	95.13
滋賀県	79	380	870	5.72	27.53	63.03
京都府	170	774	1,561	6.42	29.23	58.96
大阪府	713	2,656	5,453	8.09	30.12	61.85
兵庫県	585	2,255	4,175	10.46	40.34	74.68
奈良県	86	289	547	6.05	20.33	38.49
和歌山県	67	387	837	6.47	37.36	80.79
鳥取県	38	192	330	6.26	31.63	54.36
島根県	53	271	525	7.14	36.51	70.73
岡山県	150	500	1,156	7.66	25.55	59.06
広島県	139	715	1,423	4.83	24.86	49.47
山口県	110	519	967	7.37	34.77	64.79
徳島県	131	443	721	16.17	54.69	89.02
香川県	51	277	665	5.04	27.36	65.69
愛媛県	67	361	1,076	4.56	24.59	73.31
高知県	51	382	680	6.40	47.97	85.40
福岡県	325	1,397	2,284	6.44	27.66	45.23
佐賀県	29	412	679	3.35	47.55	78.37
長崎県	61	347	618	4.13	23.47	41.80
熊本県	53	394	940	2.88	21.39	51.03
大分県	55	394	739	4.55	32.57	61.10
宮崎県	92	391	848	7.98	33.91	73.54
鹿児島県	92	466	897	5.25	26.58	51.16
沖縄県	69	251	712	5.07	18.43	52.29
総計	9,906	43,212	88,265	7.75	33.82	69.08

※「AED設置状況の調査」厚生労働科学研究(主任研究者 丸川征四郎) 平成19年度